

災害廃棄物の広域処理 放射能測定結果一覧 [平成25年4月～6月] (高岡市)

測定対象・測定場所	測定項目	測定頻度	単位	4月			5月				6月				基準等			
				4月26日(金)	4月27日(土)	4月30日(火)	5月7日(火)	5月14日(火)	5月21日(火)	5月28日(火)	6月4日(火)	6月11日(火)	6月18日(火)	6月25日(火)				
焼却	災害廃棄物運搬車両(側面)	空間放射線量率	1回/月	マイクロシーベルト/h	コンテナ1 0.07~0.08 コンテナ2 0.08	—	—	—	0.10~0.11	0.10~0.11	0.11~0.12	—	0.11~0.12	—	0.11~0.12	バックグラウンド(災害廃棄物運搬車両の無い状態)の空間放射線量率の3倍を超えないこと		
	バックグラウンド(災害廃棄物運搬車両用)	空間放射線量率	—	マイクロシーベルト/h	0.08	—	—	—	0.12	0.13	0.12	—	0.12	—	0.12	災害廃棄物運搬車両の無い状態での空間放射線量率		
	環境クリーン工場敷地境界(4方位)	空間放射線量率	1回/週	マイクロシーベルト/h	—	0.06~0.10	—	0.06~0.09	0.06~0.10	0.06~0.09	0.06~0.09	0.06~0.09	0.06~0.09	0.06~0.09	0.06~0.09	バックグラウンド空間線量率の3倍を超えないこと		
	環境クリーン工場内部(5地点)	①	空間放射線量率	1回/月	マイクロシーベルト/h	—	0.08	—	—	—	—	0.08	—	—	—	0.07	バックグラウンド空間線量率の3倍を超えないこと	
		②	空間放射線量率		マイクロシーベルト/h	—	0.08	—	—	—	—	0.09	—	—	—	—		0.08
		③	空間放射線量率		マイクロシーベルト/h	—	0.09	—	—	—	—	0.08	—	—	—	—		0.08
		④	空間放射線量率		マイクロシーベルト/h	—	0.07	—	—	—	—	0.07	—	—	—	—		0.07
		⑤	空間放射線量率		マイクロシーベルト/h	—	0.10	—	—	—	—	0.10	—	—	—	—		0.10
	焼却	西海老坂地内	空間放射線量率	1回/月	マイクロシーベルト/h	—	0.08~0.09	0.08~0.09	—	—	—	0.08~0.09	—	—	—	0.08	バックグラウンド空間線量率の3倍を超えないこと	
			放射能濃度(土壌)	1回/3ヶ月	ベクレル/kg	—	—	セシウム134 不検出(<5) セシウム137 不検出(<5)	—	—	—	—	—	—	—	—	焼却前後の変化を確認	
二上地内		空間放射線量率	1回/月	マイクロシーベルト/h	—	0.06~0.08	0.05~0.07	—	—	—	—	0.06~0.07	—	—	—	0.05~0.07	バックグラウンド空間線量率の3倍を超えないこと	
		放射能濃度(土壌)	1回/3ヶ月	ベクレル/kg	—	—	セシウム134 不検出(<5) セシウム137 不検出(<5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	焼却前後の変化を確認	
横田本町地内		空間放射線量率	1回/月	マイクロシーベルト/h	—	0.07~0.08	0.07~0.08	—	—	—	—	0.07~0.08	—	—	—	0.06~0.07	バックグラウンド空間線量率の3倍を超えないこと	
		放射能濃度(土壌)	1回/3ヶ月	ベクレル/kg	—	—	セシウム134 不検出(<5) セシウム137 不検出(<5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	焼却前後の変化を確認	
佐加野地内	空間放射線量率	1回/月	マイクロシーベルト/h	—	0.07	0.07	—	—	—	—	0.07~0.08	—	—	—	0.07~0.08	バックグラウンド空間線量率の3倍を超えないこと		
	放射能濃度(土壌)	1回/3ヶ月	ベクレル/kg	—	—	セシウム134 不検出(<5) セシウム137 不検出(<5)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	焼却前後の変化を確認		
焼却時の排ガス	放射能濃度	1回/月	ベクレル/m ³ N	—	セシウム134 不検出(<0.2) セシウム137 不検出(<0.2)	—	—	—	—	セシウム134 不検出(<0.2) セシウム137 不検出(<0.2)	—	—	—	セシウム134 不検出(<0.2) セシウム137 不検出(<0.2)	放射性セシウム134の濃度/20 + 放射性セシウム137の濃度/30 ≤ 1 ※同一人物が0歳児から70歳になるまでの間、当該濃度の放射性物質を含む空気を摂取したとしても、受ける放射線量が一般公衆の許容値(年間1ミリシーベルト)以下となる濃度			
焼却灰(主灰)	放射能濃度	1回/月	ベクレル/kg	—	セシウム134 不検出(<5) セシウム137 不検出(<5)	—	—	—	—	セシウム134 不検出(<5) セシウム137 不検出(<5)	—	—	—	セシウム134 不検出(<5) セシウム137 不検出(<5)	100ベクレル/kgを超えないこと			
焼却灰(飛灰(造粒灰))	放射能濃度	1回/月	ベクレル/kg	—	セシウム134 9 セシウム137 21	—	—	—	—	セシウム134 8 セシウム137 21	—	—	—	セシウム134 13 セシウム137 31				
埋立	敷地境界(4方位)	空間放射線量率	1回/週	マイクロシーベルト/h	—	—	0.07~0.08	0.07~0.08	0.07~0.08	0.07~0.08	0.07~0.08	0.07~0.09	0.07~0.09	0.07~0.09	バックグラウンド空間線量率の3倍を超えないこと			
	不燃焼物処理場(D地区 1地点)	空間放射線量率	1回/週	マイクロシーベルト/h	—	—	0.07	0.07	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	バックグラウンド空間線量率の3倍を超えないこと			
	不燃焼物処理場周辺	国吉地内	空間放射線量率	1回/月	マイクロシーベルト/h	—	—	0.05~0.06	0.05~0.06	—	—	—	0.06	—	—	バックグラウンド空間線量率の3倍を超えないこと		
			放射能濃度(土壌)	1回/3ヶ月	ベクレル/kg	—	—	—	セシウム134 不検出(<5) セシウム137 不検出(<5)	—	—	—	—	—	—	—	埋立前後の変化を確認	
		西広谷地内	空間放射線量率	1回/月	マイクロシーベルト/h	—	—	0.07	0.07	—	—	—	0.07~0.08	—	—	バックグラウンド空間線量率の3倍を超えないこと		
			放射能濃度(土壌)	1回/3ヶ月	ベクレル/kg	—	—	—	セシウム134 不検出(<5) セシウム137 不検出(<5)	—	—	—	—	—	—	—	埋立前後の変化を確認	
	放流水	放射能濃度	2回/月	ベクレル/l	—	—	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	放射性セシウム134の濃度/60 + 放射性セシウム137の濃度/90 ≤ 1 ※同一人物が0歳児から70歳になるまでの間、当該濃度の放射性物質を含む水を摂取したとしても、受ける放射線量が一般公衆の許容値(年間1ミリシーベルト)以下となる濃度			
	用水(農業利用)	放射能濃度	2回/月	ベクレル/l	—	—	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	放射性セシウム134の濃度/60 + 放射性セシウム137の濃度/90 ≤ 1 ※同一人物が0歳児から70歳になるまでの間、当該濃度の放射性物質を含む水を摂取したとしても、受ける放射線量が一般公衆の許容値(年間1ミリシーベルト)以下となる濃度			
	地下水(井戸水)	江道地内	放射能濃度	2回/月	ベクレル/l	—	—	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	10ベクレル/l		
		境地内	放射能濃度	2回/月	ベクレル/l	—	—	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)	—	セシウム134 不検出(<1) セシウム137 不検出(<1)			
バックグラウンド	戸出町三丁目地内	空間放射線量率	—	マイクロシーベルト/h	—	0.10	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.10	0.09	—			

放射能濃度の測定測定方法等
放射能濃度の測定測定方法は、放射性セシウム濃度は、セシウム134濃度とセシウム137濃度の和として算出する。
平成23年12月 環境省作成の廃棄物関係ガイドライン(第5部 放射能濃度測定ガイドライン)による。
使用測定器 ゲルマニウム半導体検出器(キャンベラ社製 型式GC2521)
平成23年12月 環境省作成の廃棄物関係ガイドライン(第5部 放射能濃度測定ガイドライン)による。
測定値 地上高さ1mで、指示値の安定を確保した後、5回測定した平均値(施設敷地境界、施設周辺については、1地点内に複数の測定箇所があるため、最小値と最大値を範囲で表示)
使用測定器 NaI(Tl)シンチレーション式サーベイメータ検出器(日立アロカメディカル株製 型式TCS-172B)